

図書館運営の評価と指標

蓑田明子（東大和市子ども家庭支援センター）

0. 今日の流れ

(1) めあて

- 1 「評価」の意味、手法を再確認する。
- 2 自分の仕事を「評価する」練習をする。
- 3 職場に帰ったら、今までより「評価」を意識して仕事をする。
行政全体（母体組織）の中の図書館を意識して、仕事をする。

(2) タイムスケジュール

時刻	内容
14:00～	ガイダンス
14:05～	講義
14:50～	休憩 講義への質問・発表の準備を含む
15:05～	講義への質疑
15:15～	事例発表 1 3 例
15:45～	休憩
15:50～	事例発表 2 3 例
16:20～	質疑・まとめ

1. なぜ評価が必要か

(1) 一般論として

- ・ 自分を知るための評価
- ・ 人に知らせるための評価

- ・ 比較： 己を知る、知らせるための大事な手法

(2) 公共図書館の世界では

- ・ 職員、職場として、自分の仕事を判断するための評価
- ・ 行政組織内、その外（議員、住民など）に状況を知らせる義務とアピール
- ・ 経年変化、周辺や同規模自治体との比較により現状を把握する

参考：政策評価の意義

- ①成果の確認 何をしたかより、結果どうなったか。
- ②意思決定の合理的管理 妥当性、有効性などをチェックし、質を向上させる
- ③説明責任 透明性を向上させ、住民が検証できる
- ④住民参画の契機 行政に丸ごと委任でなく、住民が行政に参加する

究極の目的は、「住民により良い図書館サービスを提供する」ための一手法

(3) 事前課題・『行政報告』を確認する

「行政報告」は、行政が議会への提出を義務付けられた文書

全国統一で作成するが、タイトルが色々、掲載内容も色々。

タイトル例：行政報告書、歳入歳出決算に係る主要な施策の成果説明書、主要な施策の成果、主要な施策に関する説明書

地方自治法 第二百三十三条

5 普通地方公共団体の長は、第三項の規定により決算を議会の認定に付するに当たっては、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類その他政令で定める書類を併せて提出しなければならない。

(4) 自分は職場で、「評価」をどう意識しているか

・日常の業務で

・「評価」を意識する場面

決算書、行政報告、図書館年報、事務事業評価

指定管理者なら自治体への報告書

(5) 図書館業務を巡る「評価」の流れ

- ・平成 20 年 図書館法改正 (第 7 条)
- ・平成 24 年 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」
- ・行政手法としても社会的要請がある。公開の時代 (事務事業評価など)
- 平成 14 年 行政機関が行う政策の評価に関する法律

「よりよい図書館サービスの提供を目指す」目的から評価に関する研究や実践は長年あるが、「確立している」状況になっていない。
指標、判断基準とも開発途上。

「評価」の目的、意義に照らして、「図書館の評価」は十分か？

近年ますます「評価」は内的・外的理由ともに、求められている

例:「IFLA-UNESCO 公共図書館宣言 2022」

継続的な調査研究は、政策立案者に図書館の社会的な利益を明示するために、図書館のインパクト(影響)や収集したデータの評価を重視しなくてはならない。図書館がもたらす社会の利益はしばしば次の世代に及ぶので、統計データについては長期的に収集しなくてはならない。

2. 評価とは

(1) PDCA のサイクルの中に位置づけて

P _____ : 計画 D __ : 実行 C _____ : 評価 A _____ : 改善

例:アメリカ 博物館・図書館サービス機構 (IMLS)「地域触発構想」2016
『闘う図書館 —アメリカのライブラリアンシップ—』
豊田恭子著 筑摩書店 2022 年

(2) 指標を使う意味

単なる感想でなく、指標は客観的に提示できる、共有して判断材料とできる。比較できる。

(3) 評価の難しさ・危うさ

参考文献:『測りすぎ なぜパフォーマンス指標は失敗するのか?』

ジェリー・Z・ミュラー著 松本裕訳 みすず書房 2019 年

3. 図書館を評価する材料としての指標

(1) 数値

- ①インプット指標：金銭的資源、情報資源、人材、施設・設備など投入した材
の数値
例： 資料収集に要する期間、要求タイトルの所蔵率、職員経費、司書率

- ②アウトプット指標：図書館が提供したサービスの利用状況に関わる数値
例： 貸出利用率、人口当たりの来館回数・率、レファレンス回答の迅速性
座席占有率

- ③アウトカム指標：図書館活動が生み出した効果・役割の達成度
例： 利用者満足度、 再訪問意欲度、 特別助成金等の割合

- ④プロセス指標：インプットからアウトプットに至る過程の効率性に関わる数
値
例：職員生産性、 研修参加数・時間、 利用者当たりの経費
コレクション利用当たりの収集経費

- ・ 日本産業規格（J I S） 図書館統計、図書館パフォーマンス指標
※国際標準規格（I S O）

参考「ISO 図書館のインパクト評価のための手法と手順」

カレントアウェアネス-E No.267 2014年9月25日掲載

- ・ 文科省 社会教育調査「図書館調査票」 1955年以来3年毎に実施

- ・ J L A 『日本の図書館』

(2) 数値以外の指標

数字の多少で測れないものを表現する。

目標・基準をチェックリストとして活用する

様々な手法：アンケートなど

例：

- ・ 文科省「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」 2012
- ・ JLA『公立図書館の任務と目標』『図書館評価のためのチェックリスト』 2004
- ・ 文科省『学校図書館ガイドライン』2016 HP
- ・ 全国学校図書館協議会「学校図書館評価基準」2008 HP

- ・ 日野市立図書館「臨時休館後に実施した「読書調査」結果報告書」2020 HP

4. 具体的な評価例

(1) 実施の動機

① 図書館独自 実施例

- ・ 個々の事業報告
- ・ 年次報告・自己評価
- ・ 図書館協議会などの外部評価
- ・ 指定管理者などの報告

② 行政組織 実施例

- ・ 決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類
- ・ 行政評価、指定管理者評価
- ・ 総合計画、子ども読書活動推進計画などの達成状況調査

※実施主体

- ・ 図書館
- ・ 図書館協議会
- ・ 行政
- ・ 住民

(2) 評価対象

①資料提供に関わるもの

例：資料貸出 複写 予約 レファレンス・読書案内 対面朗読

②その他の事業に関わるもの

例：お話会 イベント 座席利用

③テクニカルサービスに関わるもの

例：資料収集 除籍 リクエスト関係 督促 配架 庶務
施設管理

④上記の組み合わせ

例：ボランティア養成 除籍資料配布 資料展示

5. 事例発表

- ・事前課題のうち、提出したシートを基に発表する：5分
- ・上記に対して、質疑応答する：5分

6. まとめ

明日の仕事につながる「評価」を組織的に取り組む

参考文献

- ・『図書館ハンドブック 第6版 補訂2版』J L A 2016
- ・『必携 自治体職員ハンドブック 第6次改訂版』公職研 2023
- ・『公共図書館の自己評価入門』J L A 2007
- ・『図書館評価の有効性 評価影響の理論を用いた実証研究』田辺智子
明石書店 2021
- ・「特集 図書館評価を考える」『みんなの図書館』2020年5月号
- ・「学校図書館の評価」小川三和子『学校図書館』2022年1月号